

令和 6 年度 事業報告書

社会福祉法人 淑徳福祉会

特別養護老人ホーム淑徳共生苑
淑徳共生苑短期入所生活介護事業所
淑徳共生苑通所介護事業所
淑徳共生苑認知証対応型通所介護事業所
淑徳共生苑居宅介護支援事業所
淑徳おゆみ診療所
千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘

目 次

1.	総括	1
2.	役員会開催報告	2
3.	職員配置・入退職状況	3
4.	施設内・外研修参加報告	4
5.	実習・施設見学実施報告	6
6.	年間行事及び地域交流報告	6
7.	各事業所別報告	
7-1.	特別養護老人ホーム淑徳共生苑	8
7-2.	淑徳共生苑短期入所生活介護事業所	13
7-3.	淑徳共生苑通所介護事業所・ 淑徳共生苑認知症対応型通所介護事業所	14
7-4.	淑徳共生苑居宅介護支援事業所	15
7-5.	淑徳おゆみ診療所	17
7-6.	千葉県あんしんケアセンター松ヶ丘	17
7-7.	千葉県生活支援コーディネーター	19

1. 総括

令和6年度事業計画における法人の基本方針は、①法人組織の一体化と新規事業の模索②特養入居率（98%）及び通所利用率（80%・67%）の維持、向上③職員のスキルアップ及び人材育成と安定確保④淑徳大学との連携強化、⑤地域・社会貢献活動の充実とし、法人の基本理念でもある共生（ともいき）八ヶ条を根底に置いた運営を目指してきた。

新型コロナやインフルエンザの影響を受ける懸念はあったが、他施設に先駆けて6月から家族面会を再開した。入居者及びご家族から大変喜ばれ、面会ができることが、新規入居を検討する際の大きなウエートを占めることも分かった。共生苑では、特養部門、通所部門は稼働率の維持、向上を掲げて取り組んだ。特に特養の入居率については、着実に向上が見られ、あんしんケアセンターも含めてプラス決算で終えることができた。診療所については、薬価の変更等の影響もあって残念ながらマイナス決算に終わってしまった。相談員、管理者を中心に稼働率への意識は随分向上してきたので、常に数字を意識して入居率、稼働率等を達成することが大切と考える。

人材確保の課題はあるが、満床に対応した職員数の確保を行ってきたが、年度末には派遣職員は1名のみと減少している。4月から淑徳大学社会福祉士の新規学卒者1名を迎えることとなり、人材育成により計画的に取り組みたい。入居者や利用者にとって良い人材を確保することは必須であり、新しい人材がもたらす新風を大切にしたい。

淑徳大学社会福祉学科・看護学科、栄養学科の実習、大学院生の研究、大学教員の研究等の求められるものは全て受け入れている。また、社会貢献の一環として市原特別支援学校の現場実習・清掃ボランティア活動、千葉盲学校理療科施術体験会、新規で大網白里特別支援学校の現場実習、千葉家庭裁判所の補導委託訓練、県立障害者テクノスクールの障害者委託訓練等を受け入れ、障害者委託訓練では、4月からの新規障害者雇用に結びつけることができた。また、中国・台湾を含め、各種施設見学等を引き続き受け入れている。淑徳福祉会としてできる社会貢献活動にさらに積極的に取り組んで行くべきと考えている。

6年度は、法人全体で見ると2年続いたの黒字決算で終えることができた。特養部門の満床継続は必須であり、通所部門の底上げに加え、診療所のマイナス決算分の取り戻しを優先課題として行きたい。他部門も加え、計画的な運営を行うことで法人全体の安定的な収益確保に向けて底上げを目指したい。次年度は、法人各部門が協働で法人運営全般について考え、取り組みを強化するために運営会議を開催することとした。

2. 役員会開催報告

理事会開催報告

回	期日	理事	監事	報告事項及び議案	
第1回	6月5日	4名	2名	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第1号報告 第2号報告 第3号報告	令和5年度事業報告、決算報告について 定時評議員会の招集について 就業規則の一部改訂について 給与規定の一部改訂について 業務執行状況について 事業執行状況について 淑徳共生苑・淑徳おゆみ診療所の現況について
第2回	9月19日	6名	2名	第1号議案 第2号議案 第1号報告 第2号報告 第3号報告 第4号報告	令和6年度第一次補正予算（案）について 就業規則等の改訂・制定について 業務執行状況について 事業執行状況について 淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について 補助金等申請状況について
第3回	12月12日	6名	2名	第1号議案 第2号議案 第1号報告 第2号報告 第3号報告 第4号報告	令和6年度第二次補正予算（案）について 給与規定の一部改訂について 業務執行状況について 事業執行状況について 淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について 伴走支援事業所取り組み報告について
第4回	3月7日	6名	2名	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第1号報告 第2号報告 第3号報告	令和6年度第3次補正予算（案）について 令和7年度事業計画（案）について 令和7年度当初予算（案）について 就業規則の改定（案）について 施設長人事（案）について 業務執行状況について 事業執行状況について 淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について

評議員会開催報告

回	期日	評議員	監事	報告事項及び議案	
定時	6月20日	7名	2名	第1号議案 第2号議案 第1号報告	令和5年度事業報告、決算報告について 令和6年度当初予算について 淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について

3. 職員配置・入退職状況

(令和7年4月1日現在)

特養・定員90名／短期入所・定員10名

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
施設長（兼務）	1	1	－
生活相談員	2	3	－
看護師	3	6	1
介護職員	34	54	10
管理栄養士	1	1	－
介護支援専門員	1	1	－
医師	1	1	－
機能訓練指導員	1	1	－
周辺業務（兼務）	－	5(1)	5(1)
事務員	－	4	2
宿直員	－	5	5
計	44	82(1)	23(1)

通所・定員20名／認知症対応型通所介護・定員6名

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	2	(2)	－
生活相談員	2	2	－
看護師	1	1	1
介護職員（兼務）	4	11(3)	7
運転手（兼務）	－	2(1)	2(1)
計	9	16(6)	10(1)

居宅介護支援事業所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	1	(1)	－
主任介護支援専門員	1	1	－
介護支援専門員	－	2	－
計	2	3(1)	0

淑徳おゆみ診療所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
医師	1	2	1
看護師	－	1	1
事務員	－	2	1
放射線技師	－	1	1
薬剤師	－	2	2
計	1	8	6

あんしんケアセンター松ヶ丘

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	1	(1)	－
保健師・看護師	3	3	－
主任介護支援専門員	4	4	－
社会福祉士	3	3	－
事務員	2	2	2
生活支援コーディネーター	1	1	－
介護支援専門員	－	1	－
計	14	14(1)	2

職員入退職状況（令和6年度中）

職種	入職	有期⇄無期、 正規雇用	退職
正規雇用職員	7	0	6
無期契約職員	0	0	0
有期契約職員	8	0	6
計	15	0	13

4. 施設内・施設外研修参加報告

内部研修

月	日付、内容	
4 月	26 日	緊急時対応について
5 月	17 日 31 日	事故防止対策について 接遇について
6 月	9 日 21 日 28 日	BCP（業務継続計画）について 基礎介護技術「おむつのあて方」 介護ロボットについて
7 月	12 日 26 日	褥瘡について 食中毒予防と対策について
8 月	2 日 23 日	口腔衛生管理について 看取りについて
10 月	18 日 25 日	ハラスメントについて 緊急時対応について
11 月	8 日	BCP 訓練（自然災害）
12 月	13 日 13 日	感染症対策について 感染症・BCP 訓練
1 月	24 日	事故防止対策（誤薬）について
2 月	14 日 21 日 28 日	高齢者虐待防止・身体拘束廃止について 口腔ケアについて 感染症対策訓練（ノロウイルスについて）
3 月	7 日 14 日 21 日 28 日	プライバシー保護について 高齢者虐待防止・身体拘束廃止について 認知症について 救命救急講習

外部研修

月	日付、内容	
4 月	13 日	令和 6 年度介護報酬改定のポイントと現場対応
5 月	15 日 16 日 17 日 17 日 20 日	定額減税 給与計算への影響と対策 共生社会に向けた地域づくりセミナー 在宅医療コーディネーター研修会（～10 月 18 日） 介護認定調査員新規研修 定額減税に関する給与支払者向け定額減税説明会
5 月	25 日	認知症の人と家族&ヤングケアラー

6 月	7 日	中央介護福祉専門学校同窓会研修
	7 日	千葉県「介護事業所の業務改善研修」及び「伴走支援事業所」
	20 日	生産性向上の取組と補助金活用ポイント
7 月	5 日	令和 6 年度介護報酬改定に対応する業務改善と企業価値向上
	10 日	ケアの効率を上げる排泄ケアの新たな方法
	11 日	生産性向上の取組の普及・拡大に向けた介護事業所向けセミナー
	11 日	看取りケア 尊厳と生活支援（～7 月 24 日）
	11 日	千葉県主任介護支援専門員更新研修（～8 月 22 日）
	20 日	介護キャリアアップ研修 介護実習指導（～8 月 17 日）
	23 日	医療・福祉が連携し議題解決に向けてどのように取り組んでいくかの検討会
	23 日	令和 6 年度浜野圏域多職種連携会議
8 月	3 日	令和 6 年度介護福祉士実習指導者講習会（～9 月 22 日）
	18 日	第 28 回ちばスキンケアフォーラム基礎編
	28 日	千葉市高齢者権利擁護・身体拘束廃止事業新任職員研修
9 月	5 日	令和 6 年千葉県介護支援専門員研修事業専門研修過程Ⅱ・更新研修後期研修
	14 日	第 20 回日本高齢者虐待防止学会千葉大会
10 月	1 日	令和 6 年度ユニットリーダー研修（～10 月 3 日）
	2 日	N. C. R. 2024 国際福祉機器展&フォーラム
	3 日	第 59 回関東ブロック老施協総会長野大会（～10 月 4 日）
	8 日	日本の食事摂取基準（2025 年版）の活用と最新情報
	13 日	介護認定調査員新規研修会
	24 日	デジタル中核人材育成研修（～令和 7 年 2 月 26 日）
11 月	15 日	主任介護支援専門員・管理者のための組織マネジメント研修
	18 日	難病・ヤングケアラー・障害のいずれか事例を使い、整理・思考する
	19 日	千葉市高齢者権利擁護・身体拘束廃止事業専門実践研修
	19 日	非常対策委員会・防災研修
	20 日	介護ロボット導入と活用事例研修
	24 日	2 回でマスター！誰でもわかる失禁関連皮膚炎予防
12 月	7 日	令和 6 年度中央区実践事例報告会
	13 日	中央介護福祉専門学校同窓会研修
1 月	24 日	誤嚥を早期発見するための How to
	25 日	2024 年度淑徳大学社会福祉士実習指導者講習会
	28 日	看取りケア研修
2 月	5 日	令和 6 年度「施設介護支援専門員」現任研修会
	12 日	千葉市あんしんケアセンター合同連携会議
	13 日	ショートステイ事業所向けセミナー
	14 日	えせ同和行為及び人権問題に関するセミナー
	17 日	千葉市介護ロボットワークショップ
	18 日	千葉県高齢者虐待防止対策研修
	20 日	令和 6 年度千葉県喀痰吸引指導者養成講習

3 月	7 日	科学的介護情報システム（L I F E）研修会
	12 日	令和 6 年度障害者理解度促進セミナー

5. 実習・見学実施報告

月	日程	学校・学部名等	内容	人数
5 月	14, 15, 16 日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習（総合）	6 名
	20, 21, 23 日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習（総合）	2 名
6 月	17, 19, 20, 21 日	淑徳大学総合福祉学部	実践心理学科見学実習	8 名
	24, 26, 27, 28 日	淑徳大学総合福祉学部	実践心理学科見学実習	9 名
8 月	5 日～9/5 日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助実習Ⅱ（23 日間）	3 名
9 月	9 日～13 日	淑徳大学看護栄養学部	管理栄養士給食臨地実習	4 名
	30 日～10/4 日	淑徳大学看護栄養学部	管理栄養士給食臨地実習	4 名
10 月	1, 2, 4, 8, 9 日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	9 名
	14～11/27 日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助実習Ⅰ（導入）	115 名
	15, 16, 18, 22, 23, 24 日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	7 名
11 月	26, 27, 29, 12/3, 5 日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	7 名
	25, 28, 12/2, 5, 9, 12, 16, 19 日	淑徳大学総合福祉学部	実践心理学科現場実習	4 名
12 月	10, 11, 13, 17, 19 日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	9 名
1 月	7, 8, 10, 14, 16 日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	115 名
	27～3/14 日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助実習Ⅰ（基礎）	7 名
2 月	20, 25, 26, 27, 28 日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	8 名
3 月	3, 4 日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	4 名
				延べ 321 名

6. 年間行事及び地域交流報告

月	日付	場所	行事	内容
4 月	14 日	月影堂	降誕会	お釈迦様の誕生を祝う宗教行事
5 月	26 日	苑内	家族会役員会	会計監査・今後の活動について
6 月	2 日	苑外	生実町体育祭	地域行事
	3 日	苑内	つるまい風の丘分校現場実習	職業訓練 ～14 日まで
	23 日	苑内	家族会総会	総会実施
7 月	16 日	苑内	千葉盲学校施術体験会	希望利用者・職員への施術体験

月	日付	場所	行事	内容
7 月	26 日	ホール	盂蘭盆会	宗教行事
8 月	13 日 22, 23 日	苑内 苑内	生実町花火大会 補導委託訓練	地域行事 千葉家庭裁判所への協力
9 月	13 日 25, 26 日 30 日	ホール 苑内 〃	敬老会 補導委託訓練 大網白里特別支援学校現場実習	敬老のお祝い 千葉家庭裁判所への協力 職業訓練 ～10/11 まで
10 月	1 日 10, 11 日 12 日 24 日 30 日	苑内 〃 地域 苑内 〃	中国視察団 秋祭り 生実神社湯立式 裁判官、調査官見学懇談 中国視察団	施設見学 お楽しみ行事 地域の行事 千葉家庭裁判所への協力 施設見学
11 月	29 日	苑外	HW 福祉人材就職面接会	採用面接会
12 月	2, 3 日 6 日 17 日 18, 19 日	苑内 ホール 苑内 〃	焼きいも大会 成道会 千葉盲学校施術体験会 補導委託訓練	お楽しみ行事 宗教行事 希望利用者・職員への施術体験 千葉家庭裁判所への協力
1 月	1 日 29, 30 日	地域 苑内	生実神社歳旦祭 補導委託訓練	地域の行事 千葉家庭裁判所への協力
2 月	2 日 3 日 7 日	地域 苑内 ホール	大巖寺節分 障害者委託訓練 涅槃会	地域の節分行事 受託訓練実施 ～14 日まで 宗教行事
3 月	12, 13 日 26 日 27 日	苑内 〃 〃	補導委託訓練 フラワーリレーション 書道パフォーマンス	千葉家庭裁判所への協力 千葉家庭裁判所への協力 千葉明德高校書道部の活動

7. 各事業別報告

7-1. 特別養護老人ホーム淑徳共生苑

年間稼働率

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	稼働率	平均介護度
4月	0	30	736	1,197	660	2,623	97.1%	3.9
5月	0	31	806	1,144	763	2,744	98.4%	4.0
6月	0	30	784	1,036	817	2,667	98.8%	4.0
7月	0	31	819	1,035	841	2,726	97.7%	4.0
8月	0	31	860	973	847	2,711	97.2%	4.0
9月	0	60	792	966	818	2,636	97.6%	4.0
10月	0	62	860	997	783	2,702	96.8%	3.9
11月	0	60	775	1,003	747	2,585	95.7%	3.9
12月	0	62	806	1,130	712	2,710	97.1%	3.9
1月	0	62	833	1,060	749	2,704	96.9%	3.9
2月	0	56	812	913	679	2,460	97.6%	3.9
3月	0	62	868	1,077	741	2,748	98.5%	3.9
計	0	577	9,751	12,531	9,157	32,016	97.5%	3.9

入院者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	5	2	1	2	4	1	3	2	1	1	2	2	12
日数	47	25	2	36	54	22	45	53	9	10	25	12	340

年齢・性別構成

	男性	女性
60歳代	1	0
70歳代	2	6
80歳代	10	25
90歳代	3	39
100歳代	0	3
計	16	73
平均年齢	84.5歳	90.7歳

性別・要介護度別入居者数

	男性	女性
要介護1	0	0
要介護2	0	2
要介護3	4	24
要介護4	5	30
要介護5	7	17
計	16	73
平均介護度	4.2	3.8

在苑期間

	男性	女性
1年未満	6	20
5年未満	9	42
10年未満	0	7
10年以上	1	4
計	16	73
平均	2年7ヶ月	2年10ヶ月

地域状況

地域	人数
千葉市中央区	58
千葉市緑区	15
千葉市美浜区	3
千葉市若葉区	5
市原市	5
船橋市	1
東金市	1
他県	1
計	89

利用料負担階層

	1割	2割	3割
1段階	0	-	-
2段階	10	-	-
3段階①	9	-	-
3段階②	16	-	-
4段階	53	1	0
計	88	1	0

入所状況

人数	月	年齢	性別	介護度	入所前の居所
1	4月	86	女性	要介護4	介護老人福祉施設
2	5月	88	男性	要介護4	介護老人保健施設
3	6月	84	女性	要介護5	認知症対応型共同生活
4	6月	86	女性	要介護4	介護老人福祉施設
5	6月	89	女性	要介護5	介護老人保健施設
6	6月	84	女性	要介護3	その他
7	7月	102	女性	要介護5	家庭
8	7月	85	男性	要介護3	介護老人保健施設
9	8月	87	女性	要介護4	認知症対応型共同生活
10	9月	77	女性	要介護5	家庭
11	9月	97	女性	要介護4	家庭
12	9月	91	女性	要介護4	医療機関
13	10月	92	女性	要介護5	その他
14	10月	95	女性	要介護3	医療機関
15	11月	86	女性	要介護5	医療機関
16	11月	87	男性	要介護3	医療機関
17	11月	81	男性	要介護4	家庭
18	11月	94	女性	要介護4	介護老人福祉施設
19	12月	91	女性	要介護4	医療機関
20	12月	85	女性	要介護5	家庭
21	1月	98	女性	要介護3	家庭
22	1月	86	男性	要介護3	その他
23	1月	77	女性	要介護3	家庭
24	2月	69	女性	要介護3	介護老人保健施設
25	2月	90	男性	要介護4	家庭
26	3月	85	女性	要介護5	家庭
27	3月	97	女性	要介護3	家庭
28	3月	76	女性	要介護4	介護老人福祉施設

退所状況

人数	月	年齢	性別	介護度	退所事由
1	4月	82	女性	要介護4	医療機関
2	4月	89	男性	要介護4	医療機関
3	5月	84	男性	要介護4	医療機関
4	6月	86	女性	要介護4	死亡(看取り)
5	6月	93	女性	要介護4	死亡(看取り)
6	6月	75	男性	要介護4	介護医療院入所
7	7月	71	女性	要介護5	死亡(看取り)
8	7月	90	男性	要介護4	死亡(看取り)
9	8月	87	女性	要介護4	死亡(看取り)
10	8月	93	男性	要介護4	死亡(看取り)
11	8月	84	女性	要介護4	死亡(医療機関)
12	9月	95	女性	要介護3	死亡(施設)
13	9月	99	女性	要介護4	死亡(看取り)
14	10月	82	女性	要介護5	死亡(看取り)
15	10月	72	女性	要介護5	死亡(施設)
16	10月	93	女性	要介護4	死亡(施設)
17	10月	89	男性	要介護5	医療機関
18	11月	88	女性	要介護5	死亡(施設)
19	11月	83	男性	要介護3	死亡(医療機関)
20	12月	80	女性	要介護5	死亡(看取り)
21	12月	88	男性	要介護5	死亡(施設)
22	12月	88	女性	要介護4	死亡(看取り)
23	12月	91	女性	要介護4	死亡(看取り)
24	1月	94	男性	要介護4	死亡(看取り)
25	1月	97	女性	要介護5	死亡(看取り)
26	2月	91	女性	要介護5	家庭
27	3月	95	女性	要介護4	死亡(看取り)
28	3月	86	女性	要介護5	死亡(看取り)
29	3月	88	女性	要介護4	死亡(看取り)

施設相談員報告

令和6年度は、面会・レクリエーション・研修など、前年度の制約が緩和され、家族が日々面会に来苑する日常の中で運営を行うことができた。

- ・ 申込者の見学相談を積極的に受け入れ、入所前調査等により入居者の生活習慣の把握、家族の思いを把握し、診療所・ユニット・多職種との連携を図り、入居者の個別的な生活が維持できるよう努め、尊重したケアを提供するよう努めた。
- ・ 多職種連携の強化のため、ユニット会議・カンファレンス（担当者会議）だけでなく、看護会議や淑徳おゆみ診療所医師との相談体制を構築し、入居者の体調管理やケアの向上に努めた。また新たにカンファレンスシートを作成し、多職種で情報共有の徹底を図り、各書式のフォーマットを改善することで業務負担軽減につながる改善を行った。
- ・ 各委員会は、前年度の業務負担について見直しを行い、各委員会の年間スケジュールを明確化したうえで、委員会開催頻度を削減した。各職員の業務負担を軽減しながら、効果的に委員会を実施できるよう努めた。また、今年度より新たに生産性向上委員会を発足した。
- ・ 虐待防止委員会：啓発活動やチェックリストの活用を行い、データとして提示し、課題・実施・評価を行い不適切なケアへの取り組みを実施できた。委員会を通し苑全体としての取組を行うことで評価では明らかな成果を出すことができた。より良いケアの実現を目指すために次年度につなげていきたい。
- ・ 身体拘束廃止委員会：身体拘束廃止の取り組みの結果、新規入所者で一時的にやむを得ずに身体拘束を実施したが短期間で終了し、今年度も身体拘束ゼロを実現している。
- ・ ユニットの中で実施できるレクリエーションの工夫・毎月の法話会（宗教行事）・定期的な音楽レクなど、活動の機会を増やし喜んでもらえるよう支援した。また、秋祭りや餅つき会など、感染対策を行った上で、コロナ禍前に近いレクリエーションの提供をした。ボランティアの受け入れは、ハンドマッサージや書道パフォーマンスなど実施することができ、次年度もボランティアの受け入れは増やしていく。
- ・ 苑内外研修会や勉強会を通し、専門的知識や技術のレベルアップとして介護職者としての資質向上に努め、研修会はロールプレイやグループワークを積極的に取り入れた。また法令研修の増加や苑内訓練の義務化により、前年度取り入れた視聴型研修を改善することで、円滑に研修を実施できるよう研修体制の構築に努めた。

- ・ 実習生の受け入れ体制については実習内容も改めて、社会福祉士実習・看護実習など苑内での実施を行うことができた。感染対策を徹底した中で、デイサービスやユニットでの現場実習も実施することができた。
- ・ 前年度より入所をスムーズにするため入所判定委員の連携を強化したことにより、退所が決まった時点で次期新規入所が決定している受け入れ体制をとることができた。
平均入所：月 2.3 人、退所：月 2.4 人となった。前年度より稼働率を上げることができ満床になることも前年度より多い結果となったが、入院者が 13 名と多かったため当初目標値を達成することができなかった。安定した稼働を維持していくため、ショートステイから長期入所へ移行がスムーズにできるように体制を構築し、入所待機者をさらに増やし、安定した稼働ができるようにしていく。
- ・ 今年度も新型コロナウイルス感染症やインフルエンザが発生し、職員への感染だけでなく入居者への感染も発生した。淑徳おゆみ診療所との連携により、早期発見・早期治療を実施することができ短期間で終息することができた。引く続き感染症予防対策の徹底に努めていく。

来年度は、感染症予防対策を徹底していく中で、苑内外での活動を活発化し、入居者が充実した生活を過ごせるように努めていく。また生産性向上への取組にも力を入れて、働きやすい職場作りに努めていく。

施設看護報告

- ・ 施設医療において、健康に生活できるレベルを保つ事、疾患に対して少しでも苦痛を取り除く事を最優先に考え医師との連携に努めた。
- ・ 健康診断において、入居者様の健康状態の把握、異常の早期発見に努める事ができている。
- ・ 施設看護体制の中で、医師の指示のもと看護師ができる範囲の医療を、昨年同様提供できている。
- ・ 熱発等の受診においては、肺炎や熱の受診が上位を占めていたが内服中心の治療・疾患の程度により肺炎の診断がなされた場合診療所にて点滴治療が可能であり、内服と点滴治療でほとんどの方が回復され、他への感染もなく至っている（入院者数も減少している）。
- ・ 皮膚疾患・処置（褥瘡・発赤疹等）のおける受診が多くみられたが褥瘡に関しては多

職種連携のもと改善に向かうことができた。

- ・ 多職種との情報連携を円滑に行い、必要とされる医療・看護を提供する事ができた。
(食事・排泄・睡眠・看取り等)
- ・ 口腔予防衛生の取り組みとして訪問歯科との情報の共有、飲み込む力の弱くなってきている入居者様に対して嚥下訓練も行っている。
- ・ 感染症（インフルエンザ・新型コロナ等）については予防接種を行っている。医師の指示のもと必要に応じて医療の提供を行い、感染を最小限に抑える事ができている。

淑徳おゆみ診療所受診状況

受診内容	延べ人数
整形（打撲・骨折）等	26
熱・CT	57
泌尿器・バルン関係	22
糖尿・内科・栄養関係	33
循環器関係	7
頭痛・脳外科関係	3
処置・皮膚疾患	84
皮膚疾患・点滴	80
その他	32
計	344

訪問歯科受診状況

月	診療回数	延べ人数
4月	14	214
5月	13	215
6月	14	197
7月	15	206
8月	13	158
9月	13	161
10月	14	181
11月	14	168
12月	14	181
1月	13	179
2月	12	192
3月	13	196
計	162	2248

他医療機関受診状況

診療科	延べ人数
内科	19
神経内科・精神科	3
眼科	13
皮膚科	22
循環器・ペースメーカー管理	10
耳鼻科	1
整形外科	15
胃腸	5
泌尿器科	0
脳外・外科	0
その他	2
計	90

浜野グラストビトイーン歯科, おゆみ野総合歯科クリニックの2院で診察

- ・喀痰吸引（主に口）2名、経管栄養4名、ペースメーカー4名、バルーン1名

7-2. 淑徳共生苑短期入所者生活介護事業所

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症も第5類へと分類が変更となり、利用回数や日数を増やされるご利用者様が多くみられた。また、新規にご利用を申し込まれる方も前年度に比べ、増加した。在宅ケアマネージャーや多職種との連携を強化し、ご利用者やご家族が安心して利用できるように努めた。

集団的なレクリエーションは、ユニット内での実施となる。また個々に活動できるパズル・折り紙・体操など日々余暇活動を充実できるように努めた。

年度を通して、感染の発症もなく安定した運営が継続できた事で、平均稼働率83%にて経過した。単月では4月・9月は稼働率90%を超えた月もあった。

ロングショートステイから長期入所に繋がったケースが9件あった。次年度以降も長期入所を希望される方の受け皿としての役割を担っていく必要があると考える。

次年度は、余暇活動の充実だけでなく、様々な利用者のニーズに対応し、新規利用の獲得と更なる安定した稼働率での運営ができるように取り組んでいきたい。

年間稼働率

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	稼働率	平均介護度
4月	30	42	123	55	23	273	91.0%	3.0
5月	28	43	98	69	35	273	88.1%	3.1
6月	29	60	87	58	26	260	86.7%	3.0
7月	31	51	105	66	22	275	88.7%	3.0
8月	31	46	105	57	17	256	82.6%	2.9
9月	33	45	143	47	18	286	95.3%	2.9
10月	21	26	141	35	21	244	78.7%	3.0
11月	23	19	113	66	18	239	79.7%	3.2
12月	23	27	128	44	21	243	78.4%	3.1
1月	30	29	108	25	17	209	67.4%	2.9
2月	19	24	107	29	45	224	80.0%	3.3
3月	22	41	144	19	22	248	80.0%	2.9
計	320	453	1,402	570	285	3,030	83.0%	3.0

7-3. 淑徳共生苑通所介護事業所・

淑徳共生苑認知症対応型通所介護事業所

令和6年度はコロナ禍から明け、デイサービスも外出行事など積極的に行うことができた。今まで行っていない外食や買い物にも出掛ける事ができ良かったと思われる。

また、本年度は年末休業中にご利用者様の体調不良による利用終了や事故による長期入院が多く、1月になり大きく稼働率が下がってしまった。すぐに営業活動を行い一般型は徐々に回復しているが、認知症対応型については利用開始すぐに在宅困難になるケースが多く稼働率アップが難しくなっている。

また、今年度は転倒による骨折のための長期入院者も多く出ていた。退院後は再びデイをご利用されているが、転倒への不安を抱えている方が多く転倒予防の為の筋力をつける体操等を今後増やしていきたいと考えている。

通所介護事業所年間稼働率

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	稼働率	平均介護度
4月	123	140	27	44	0	334	64.2%	2.0
5月	122	147	38	47	0	354	65.5%	2.0
6月	109	111	34	34	12	300	60.0%	2.1
7月	112	167	31	32	0	342	63.3%	2.0
8月	98	167	43	29	0	337	62.4%	2.0
9月	116	150	47	31	0	344	68.8%	2.0
10月	137	153	57	23	0	370	68.5%	1.9
11月	136	148	50	19	0	353	67.8%	1.9
12月	133	132	44	15	0	324	67.5%	1.8
1月	98	122	22	20	0	262	54.5%	1.9
2月	125	113	19	38	6	301	62.7%	2.0
3月	149	130	27	45	0	351	67.5%	1.9
計	1,458	1,686	439	377	18	3,972	64.4%	1.9

認知症対応型通所介護事業所年間稼働率

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	稼働率	平均介護度
4月	17	8	23	4	19	71	45.5%	3.0
5月	18	0	29	5	16	68	41.9%	3.0
6月	19	0	31	15	23	91	60.6%	3.2
7月	7	11	31	15	23	87	53.7%	3.4
8月	8	8	30	16	26	88	54.3%	3.5
9月	8	21	29	9	20	87	53.7%	3.1
10月	8	20	30	0	19	77	47.5%	3.0
11月	8	23	26	0	4	78	50.0%	1.9
12月	8	18	25	0	13	64	44.4%	2.9
1月	8	13	12	0	4	37	25.6%	2.4
2月	13	19	4	0	4	40	27.7%	2.1
3月	14	15	15	0	5	49	31.4%	2.3
計	136	156	285	64	176	817	44.7%	3.0

7-4. 淑徳共生苑居宅介護支援事業所

- ・ 昨年度に引き続き令和6年度も3名体制を維持して特定事業所加算Ⅲを算定した。千葉県介護支援専門員実務研修実習生（1名）受け入れた。研修や事例検討会等への参加により質の高いケアマネジメントの維持に努め、多職種連携会議や地域活動への参加にも積極的に取り組んだ。
- ・ 認定調査受託については、令和6年度も多くの依頼があり、可能な範囲で対応した。
- ・ 昨年度末は新規受付を停止し実績合計数が減少していたが、担当利用者の引き継ぎと並行して新規相談に対応し、件数増加に繋げた。新年度に入っても新規相談は多く、随時対応を継続していく。

実績

	職員数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
4月	3	3	10	35	19	11	5	1	84
5月	3	4	9	38	20	11	5	2	89
6月	3	5	9	38	18	12	5	3	90
7月	3	5	9	39	19	11	4	3	90
8月	3	5	9	39	18	11	6	4	92
9月	3	7	12	41	17	12	7	4	100
10月	3	7	12	41	16	12	6	4	98
11月	3	6	12	40	17	12	6	4	97
12月	3	6	10	43	19	12	7	4	101
1月	3	6	10	45	18	13	7	5	104
2月	3	6	10	44	21	13	6	5	105
3月	3	7	10	42	18	17	6	4	104
計	-	67	122	485	220	147	70	43	1,154
月平均									96.2

登録者数（3月末時点）

性別	予防給付	介護給付	計
男性	7	34	41
女性	8	57	65
計	15	91	106

登録者世帯状況（3月末時点）

世帯	人数
独居	54
夫婦	38
子ども世帯同居	43
他親族同居	1
その他※	3
計	106

※ロングショート利用中、サービス付高齢者住宅

認定調査受託

受託件数	保険者
45 件 (前年度 43 件)	船橋市 14 件、習志野市 5 件、大網白里市 3 件、市原市 2 件、浦安市 2 件、いすみ市 2 件、茂原市 2 件、千葉市花見川区 1 件、木更津市 1 件、南房総市 1 件、東京都（葛飾区 3 件） 埼玉県（川口市 1 件、越谷市 1 件） 神奈川県（座間市 1 件） 北海道（岩見沢市 1 件、登別市 1 件） 高知県（高知市 1 件） 福岡県（福岡市 3 件）

研修等参加

月	日付・内容・参加人数
4月	4, 12, 18 日 介護支援専門員実務研修実習受け入れ 15 日 あんしんケアセンター浜野圏域ケアマネサロン (2名)
5月	1 日 中央区ケアマネサロン (1名) 7 日 浜野圏域SDGs イベント開催の為の実行委員会 (1名) 16 日 認知症に関する講演セミナー (1名) 17 日 千葉県介護認定調査員新規研修 (1名) 在宅医療コーディネーター研修 (2名) 25 日 ヤングケアラーについての外部研修 (1名)
6月	7 日, 21 日 浜野圏域SDGs イベント開催の為の実行委員会 (1名) 21 日 在宅医療コーディネーター研修 (2名)
7月	1 日 浜野圏域SDGs イベント開催の為の実行委員会 (1名) 12 日 在宅医療コーディネーター研修 (2名) 13 日 浜野圏域SDGs イベント (3名) 22 日 淑徳共生苑認知症対応型通所介護 運営推進会議 23 日 浜野圏域多職種連携会議 (3名) 24 日 新人ケアマネ向け研修 (1名)
8月	9 日 浜野圏域事例検討会 (3名) 23 日 在宅医療コーディネーター研修 (2名)
9月	12 日 あんしんケアセンター松ヶ丘主催 虐待防止研修 (1名) 25 日 在宅医療コーディネーター研修 (2名)
10月	3 日 中央区ケアマネジャー向け研修 (3名) 9 日 認知症と家族の会 (1名) 17 日 浜野圏域事例検討会 (3名) 18 日 在宅医療コーディネーター研修 (2名)
11月	14 日 松ヶ丘圏BCP研修 (1名) 18 日 千葉県社会福祉研修センター主催 外部研修 (1名)
12月	7 日 中央区実践事例報告会 (2名) 13 日 苑内研修「感染症BCP」 (3名) 17 日 浜野圏域 高齢者虐待防止研修 (3名) 17 日 浜野圏域事例検討会打ち合わせ (3名)
1月	14 日 浜野圏域事例検討会打ち合わせ (3名) 25 日 社会福祉士実習指導者研修 (1名)
2月	1 日 社会福祉士実習指導者研修 (1名) 4 日 浜野圏域事例検討会※主催担当 (3名) 5 日 あんしんケアセンター浜野意向調査 (3名) 12 日 あんしん中央・千葉寺・松ヶ丘合同多職種連携会議 (1名) 17 日 淑徳共生苑認知症対応型通所介護 運営推進会議 (1名) 18 日 千葉県高齢者虐待防止対策研修 (1名)
3月	14 日 苑内研修「BCP」 (2名)

7-5. 淑徳おゆみ診療所

実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外来患者数	470	482	471	474	467	440	491	539	501	470	442	512	5,759
入居者等	68	48	49	36	87	52	59	29	50	66	60	44	648
処方等	295	235	228	279	225	268	252	223	234	219	230	243	2,931
予防接種等	6	103	101	42	37	20	148	310	124	6	17	12	926
計	839	868	849	831	816	780	950	1,101	909	761	749	811	10,264

7-6. 千葉市あんしんケアセンター松ケ丘

あんしんケアセンター松ケ丘では、下記のように年間の活動方針・重点活動項目を定め、それに沿って活動した。

1. 令和6年度活動方針（総合）

- 積極的に地域に出向き、あんしんケアセンターの周知を図る。周知方法も既存の方法だけでなく多種多様な方法を検討し実践していく。また、高齢者だけでなくすべての年代への周知を図ることで、早い段階で支援機関と繋がることを目指す。
- 地域ケア会議を開催し、多機関多職種の方後個別ケースや地域課題の検討を行うことで、連携強化を図っていく。
- 移動手段の課題を抱える地域を重点的に活動する地域とし、実態調査や新たな地域資源等の検討を行う。

2. 令和6年度重点活動項目

(ア) 松ケ丘（対象地域：川戸町（全域））

- 生活実態調査の分析
- 地域ケア会議の開催

(イ) 白旗出張所（対象地区：大森町（112地区）・蘇我5丁目）

- 生活実態調査の分析

- ・ 地域ケア会議の開催

3. 年度総括

(ア) 活動方針

- ・ 積極的に地域に出向き、あんしんケアセンターの周知だけでなく、介護予防や消費者被害などの啓発活動を行った。
- ・ 相談件数が過去 1 番の件数を更新する中、他機関と共同した研修会や地域ケア会議を開催した。

(イ) 第 1 号介護予防支援事業

- ・ 委託先居宅介護支援事業所から提出された書類について適切に管理できた。

(ウ) 総合相談支援

- ・ 出張相談会や地域行事、ポスター掲示、パンフレット配布等の様々な手法を用いて、あんしんケアセンターが幅広い年代の方の目に触れる活動をし、世代横断的、複合的な課題を抱える方からの相談をいただくことが多くなった。
- ・ 職員間だけでなく各関係機関とも情報の共有を図り、課題解決のために支援を行った。
- ・ 複合的な課題解決のために、地域ケア会議、個別ケース会議を積極的に開催して支援方法の検討や支援者とのネットワーク構築を図ることができた。

(エ) 権利擁護

- ・ 高齢者虐待防止研修の開催により虐待への理解を深め、圏域内の事業所と虐待を早期発見するための関係構築を図ることができた。
- ・ 高齢者の集いの場、シニアリーダー体操教室にて防犯の注意喚起、啓発活動を行った。
- ・ 成年後見制度に関しての市民向け講座を開催した。
- ・ 認知症サポーター養成講座や RUN 伴、中央いきいきプラザとの共催イベントを開催して幅広い年代の方に対して認知症の理解促進・啓発活動に取り組んだ。

(オ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

- ・ 事例検討会や研修会を予定通り実施することができた。
- ・ 中央区あんしんケアセンター5 センター合同で主任介護支援専門員の更新要件である 3 時間研修を実施し修了書を発行した。
- ・ 防災に関する研修（BCP 研修）を実施し修了証を発行した。
- ・ 多職種連携会議や実践事例報告会など多くの方に参加いただき、情報交換、意見交

換ができた。

(カ) 一般介護予防事業

- ・ 町内自治会、老人会、社協、健康課、民間の会社等の関係機関と連携し、高齢者の通いの場でフレイル予防や健康維持のための講座、健康相談測定会を実施した。
- ・ 地域の広い世代を対象にゲートキーパーやビジネスケアラーに関する情報を発信した。
- ・ いきいき活動手帳を配布しセルフケアの必要性について周知を図った。

(キ) 重点活動項目（松ヶ丘）

- ・ 民児協定例会に出席し、重点活動項目の取り組みについて説明し、意見交換を行った。
- ・ 川戸地区の方が利用できる地域資源をまとめ、回覧や講座開催の案内を町内自治会に送付した。
- ・ 見守り隊やお助け隊の報告会に参加し、地区の現状把握に努めた。

(ク) 重点活動項目（白旗出張所）

- ・ 通いの場や総合相談、居宅介護支援事業所を通して外出の目的や移動手段、頻度、健康状態や生活状況のアンケートを実施した。
- ・ 地域ケア会議にてアンケート結果を報告し、地域の実情に応じた社会資源の検討や課題解決方法について意見交換を行った。

7-7. 千葉市生活支援コーディネーター

松ヶ丘圏域担当生活支援コーディネーターは、下記のように重点取組項目・具体的な活動目標を定め、それに沿って活動した。

1. 重点取り組み項目

- ・ 地域ケア会議や総合相談等に積極的に関わり、地域の関係者や関係機関、行政関係部署等のネットワークを強化する。
- ・ 地域情報や地域から医療、支援ニーズの把握を行う。
- ・ 地域の実情に応じた地域資源情報を迅速に提案できるよう準備する。
- ・ あんしんケアセンター松ヶ丘が重点活動項目に定めた地域（川戸町、大森町、蘇我）で地域の実情に応じた地域資源の検討や提案を行う。

2. 具体的な活動目標

(ア) 生活支援・介護予防サービスの提供状況の把握

- ・ 高齢者が住み慣れた地域や自宅での生活を継続できるように、社会参加やインフォーマルサービスの活用に必要な情報を提供できるようにする。

(イ) 生活支援・介護予防サービスの創出

- ・ 地域住民自らが主体となり運営できる通いの場を作っていく。
- ・ 見守り活動や住民同士の助け合いへと発展するような働きかけを行う。

(ウ) 支援ニーズの把握

- ・ 地域の実情やニーズ、地域に関する情報を整理し地域の特性や課題について把握していく。

(エ) 担い手の育成

- ・ できるだけ多くのシニア世代の参画を得て、高齢者を対象とした地域支援活動を活発化させていく。

(オ) 多様な関係機関・団体とのネットワークの構築及び協議体の設置

- ・ 各種関係機関と連携し高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域を目指していく。

(カ) 認知症地域支援推進員の活動

- ・ 地域に住む高齢者が認知症になっても自分らしい生活を送ることができるように、当事者や家族が自分の言葉で発信できる場をサポートする。

3. 重点取組項目・総合評価

(ア) 地域ケア会議や資源調査などで、地域関係者や行政関係部署との挨拶や顔合わせができた。

(イ) (ア) と同様

(ウ) 計画的に資源調査を行うことができた。

(エ) あんしんケアセンター松ヶ丘が重点活動項目に定めた地域の買い物支援やごみ捨て支援の一覧やマップを作製した。

4. 具体的な活動目標に対する取組状況

(ア) 資源調査の際にチラシを配布したり、スマートフォンで生活支援サイトを検索する練習を行った。松ヶ丘圏域で利用できる買い物支援情報を収集し買い物支援情報一覧を作成した。

(イ) シニアリーダー体操教室の新規創設に対し、助言や地域への周知を行った。

(ウ) 総合相談ミーティングに参加し、支援ニーズの把握を行った。

居宅介護支援事業所や地域住民からの地域資源に対する相談対応を行った。

(エ) 認知症ステップアップ講座修了者を地域の活動の担い手としての繋ぎを行った。

(オ) 協議体を設置し、講座や認知症に関する模擬訓練などを行った。

(カ) 認知症カフェに対し、補助金申請等の支援を行った。

a